

健康管理サイトに指針

キユーオーエルなど策定へ

上田市で創業し、女性向け健康管理サイトを運営するキユーオーエル(東京)は9日、シチズンホールディングス(同)などと連携し、経済産業省の委託事業で、健康管理サイトの指針づくりに乗り出すと発表した。数多くのサイトがある中、利用者に適切な情報を提供する環境を整え、市場の成長につなげる狙い。

キユーオーエルは、利用者が基礎体温の推移や体調の変化などを記録できるサイトを運営。今年5月、本社を上田市から東京都多摩市に移した。宮島正子社長は「女性向けサイトがあまりに多く、利用者が何が正しい情報かを見極めにく

い」としており、健康機器などを手掛けるシチズンホールディングスや、女性向けサイト「ルナルナ」を運営するエムティアイ(東京)などに呼び掛け、計5社で共同研究チームを結成した。

研究チームは、首都圏の女性が健康管理サイトをどのように使っているか調べ、現代女性の健康データなどを分析。医師や薬剤師、助産師ら専門家の協力を得て、サイトとして守るべき指針を策定する。将来的にはサイトのサービス向上を図る業界団体の設立につなげたい考えだ。キユーオーエルの宮島社長は「利用者が安心してサイトを使える環境を整え、新しい産業として成長させたい」としている。